

## 令和4年度第2回函館市魚類等養殖推進協議会に係る意見について

### ○議 事 1 令和5年度（2023年度）以降の養殖事業の取り組み

- (1) キングサーモン養殖に関する取り組み
- (2) コンブ養殖に関する取り組み
- (3) ウニ蓄養に関する取り組み

委員名	ご意見
佐々木委員 (函館市漁協)	現在, 当組合において, 天然資源に依存しない安定的な漁業経営の確立を図るため, トラウトサーモンの海面養殖事業化に取り組んでおり, 令和7年度を目途に事業化を目指しておりますが, 当該事業に対する技術的なアドバイス等を含め支援をお願いしたい。
越田委員 (戸井漁協)	現在, 当組合のコンブ種苗センターなどを利用してコンブ養殖技術の研究の一つである成熟誘導技術研究が進められておりますが, コンブ養殖漁業は戸井地域のみならず函館市全体にとっても基幹漁業であることから, 引き続きコンブ養殖に関する研究に取り組んでいただければと思います。 特に, 成熟誘導により種苗生産したコンブの品質向上, 現場等への技術導入等について, よろしくお願いしたい。
吉野委員 (函館地域産業 振興財団)	全体としては, 養殖に関する様々な試験・研究が計画されており, 今後の成果が楽しみです。 「キングサーモンについて」 魚類養殖では, 成長速度がコストに与える影響は大きく, 事業化を考えた場合, 非常に重要な要素となります。餌の影響も大きいと思いますが, 飼育水温も大きな影響があります。今後, 飼育適水温についての試験研究も計画に加えていくよう検討していただきたい。 また, 養殖魚の評価は, 最終的に市場に出した時の味や外観が左右し, 水揚げから市場に出すまでの取り扱い(締め方, 脱血, 鮮度保持方法等)も重要となります。身割れやうっ血, 生臭さがあれば大きく価値は下がります。安定して取り扱うには多くの経験が必要になりますので, 今回のサクラマスの試験養殖からでも, 水揚げ後の取り扱い方法についても検討を進めていただきたい。